

フェアトレードって何?

フェアトレードとは

発展途上国の原料や製品を適正な価格で買うことにより、貧困をなくすことを目指す貿易の仕組みである。

フェアトレードの認知度

フェアトレードはよい仕組みだが、現在の日本では、まだあまり広がっていないようだ。

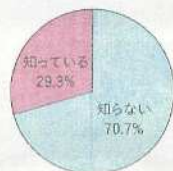
資料1は、「フェアトレードの意味を知っているのか」

をたずねた結果、「知らない」と答えた人が70.7%で、「知っている」と答えた人は、29.3%だ

た。さらに、資料2は、実際にフェアトレード製品を買ったことがあるのかをたずねた結果、「買ったことがない」と答えた人の割合は、87.6%をこえていて、「買ったことがある」と答えた人の割合は、12.4%だった。

資料1

フェアトレードの意味を知っている人の割合



資料2

フェアトレード製品を買ったことがある人の割合



(2015年/いずれも日本フェアトレード・フォーラムの資料より)

国別フェアトレード認証製品の市場規模

右の資料から分かること
のイギリスが208で他の国よりも多い。日本は0.7%で、他の国より少ない。

感想

フェアトレードの意味を知らない人が多くて、知っているが少ないということが分かりました。

参考図書 東京書籍 新しい国語六「世界に目を向け意見を書く」

国別フェアトレード認証製品の市場規模



(2014年/国際フェアトレード機構調べ)